

岡山大学広報

いちよう並木

OKAYAMA UNIVERSITY MAGAZINE



OKAYAMA
UNIVERSITY



デジタル田園健康特区

吉備中央町が指定、岡山大学が参画



CONTENTS

〈いちよう並木100号記念企画〉
あなたが知っている「岡大ネタ」大公開！
広い世界で活躍する岡山大学の学生たち
岡大発ベンチャーが熱い！

新任教員紹介 OU NAVI



2022



“デジタル田園健康特区”

安心・安全に生活できる 未来型シティの創出へ

岡山大学が参画

吉備中央町が「デジタル田園健康特区」に指定

医療や健康分野に特化した規制緩和により、地域の課題解決を目指す「デジタル田園健康特区」。岡山県吉備中央町が全国で初めて指定された。岡山大学は構想立案から中枢で参画してきた。総括アーキテクト（※1）として全体設計に携わる那須保友理事・副学長が、構想の取組・ビジョンを語る。

求められたのは 総合大学としての「総合知」

2022年3月10日に開催された国家戦略特区諮問会議において、岡山県吉備中央町が全国初となる革新的事業連携型の国家戦略特別区域「デジタル田園健康特区」として指定された。この特区は、岸田内閣が進めるデジタル田園都市国家構想を先導するもので、健康や医療分野に特化し、デジタル技術の活用により、人口減少や少子高齢化など、日本各地の地域が抱える課題を規制緩和により解決するものであり、全国に先駆けたモデル化を目指す。今回、総括アーキテクトとして全体設計に携わる那須保友理事にそのビジョンを伺った。

「もともとは、吉備中央町が掲げる『吉備高原都市スーパーシティ構想』の実現に向けて、町をはじめとした32の産官学金の参画団体から構成される『吉備高原都市スーパーシティ推進協議会』が設立されたことが始まりです。私たち岡山大学も地元の総合大学という視点からお声がけいただきました。その際、本学に期待されたのは、総合大学としての幅広い学問領域、いわゆる『総合知』です。結果的にはいろいろな経緯を踏

んだのですが、対象範囲を町全体に広げ、内閣府には『地域における健康・医療の課題解決』にフォーカスした提案を行いました」。

岡山県の中央部に位置する吉備中央町は2004年に2町の合併で誕生した。合併前の1975年には、「吉備高原都市」の計画が始まり、1984年には同じ区域が、「テクノポリス」の指定を受け、企業や研究機関の誘致を進めた。しかし、バブル崩壊後に計画を縮小。県の財政再建計画により、2002年、開発は事実上凍結された。町の人口はピーク時の約1万5507人から減少を続け、2022年1月現在で1万925人となっている。

2021年1月より推進協議会にアーキテクトとして参画した本学は、具体的な活動として「母子健康情報のデジタル化」「救急医療における救急救命士の役割拡大」「医療や健康情報のPHR（Personal Health Record）基盤への蓄積」を中心とした構想立案の中核を担ってきた。

「立案に際しては富士通内山敬太補佐アーキテクト（システム・事業評価担当）、システムズナカシマ橋本幸夫補佐アーキ

康・医療分野に対する橋渡し研究支援機関及び臨床研究中核病院としての機能を最大限に活用していかれたらと思っています」と続けた。

※1アーキテクト

建築家・設計者などの意味。課題の設定、事業計画の作成、先端技術の活用など、構想全体を企画する者。

※2ローカルSDGs

各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。（出典：環境省ローカルSDGs「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」）

「オール岡大」体制で地域、そして日本の課題解決に挑む

締結の際、榎野博史学長は「総合大学として、幅広い学問領域の『知』と『技』を結集した『オール岡大』体制で『地域の課題解決の先駆的モデル』を構築し、ローカルSDGs（※2）の達成を図りたい」と思いを述べ、吉備中央町の山本雅則町長は、「岡山大学と一体となり、デジタル技術を活用した先端的なサービスの提供により、地域課題の解決と地域社会の発展に寄与し、同じような課題を持つ他の中山間地域のモデルになることを目指したい」と宣言した。

この取り組みに関して、那須理事は「今回の『デジタル田園健康特区』には吉備中央町の他、長野県茅野市、石川県加賀市が指定されました。今後は3自治体間での施策やデータを連携し、その中で本学は、健



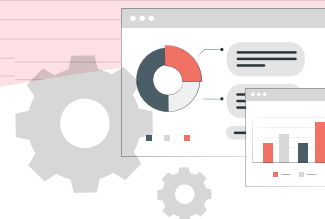
「専門知」を融合させ新たな「総合知」へ 岡山大学がなすべきミッション

「オール岡大」のポテンシャルを最大限に活かす

「地域の課題を解決する。それが岡山大学がなすべきミッション」と改めて本学の存在意義を強調する那須理事。加えて、「このプロジェクトは岡山大学病院だけのマターではない。全学で取り組むべきもの」と続けた。

「最初の突破口として『健康・医療』を掲げましたが、今後は『教育・交通・防災』といったフィールドに活動領域は広がっていきます。そこで大切になってくるのが『本場に町民の皆さんは当プロジェクトを通じて幸せを感じているのか』『心豊かな暮らし（Well-being）と持続可能な環境・社会・経済（Sustainability）を両

立して実現できるのか？』、そうしたことを多面的に検証するシステムです。そのためには、人文社会学・教育学・自然科学・医学などの「専門知」が必要になり、それらが融合することで、1+1が2以上になる総合研究大学ならではの新たな「総合知」が生み出されてくると考えています」と那須理事は指摘する。社会の課題解決にはこうした「総合知」は不可欠で、幅広い学問領域を有する「オール岡大」への期待は大きい。その持てるポテンシャルを岡山の地で最大限に活かすことが本学の未来につながっていく。



那須 保友

NASU Yasuhiro

岡山大学理事(研究担当)・副学長
吉備中央町デジタル田園都市推進協議会
総括アーキテクト

那須 保友
■専門分野/泌尿器科学

1957年生まれ。愛媛県出身。岡山大学医学部卒。岡山大学大学院医学研究科修了。博士(医学)。我が国初の前立腺がん遺伝子治療臨床研究を岡山大学で実施。2010年新医療研究開発センター設立の中心メンバー。趣味はロードバイク(愛車はピナレロ)。休日には児島湖エリアを快走している。



救急医療における救急救命士の役割拡大

吉備中央町の構想では、救急救命士の権限・役割を拡大し、救急体制の充実を図る取り組みが注目された。具体的には、地域の医療機関や消防署と連携しながら、医師の指示の下で救急救命士が行う救命処置を拡大し、「傷病者情報(生体・環境情報)の収集」「情報収集の伝送」「無侵襲行為(超音波検査など)」の実施を想定している。今後は岡山大学病院と岡山市

消防局で実証実験

を行い、データの集

積を進め、実現化を

目指していく。さら

にはマイナポータル

情報と母子健康手帳の情報を組み合わせて、「子どもの健康情報の一元管理」「妊産婦健診など予防医療との混合診療」も推進していく予定だ。

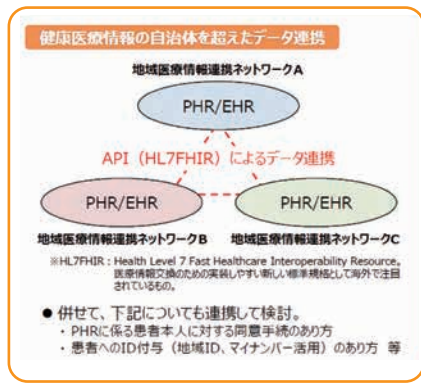
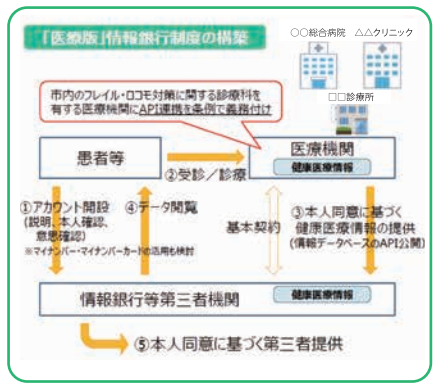
救急医療における救急救命士の役割拡大

- 地域の医療機関や消防署との連携の下、救急救命士が医師の指示の下で実施できる行為(救急救命処置)を先行的に実証することを検討

- ・提案自治体: 吉備中央町
- ・医療機関等: 岡山大学病院(臨床研究中核病院)、岡山市消防局



医療健康情報の連携



健康情報の連携イメージ(出所:内閣府)

「デジタル田園健康特区」では、自治体間の施策連携・データ連携による相乗効果が期待されている。なかでも注目されているのが健康医療データの連携だ。現在、自治体ごとに地域医療の情報連携ネットワークの構築に取り組んでいるが、自治体を超えた「標準化」は進んでいないのが現状。特区では、患者のPHR(パーソナル・ヘルス・レコード…個人の健康・医療関連の情報)を第三者組織が預かり、患者、臨床研究、新たなアプリ開発のために利活用することを目指している。加賀市(石川県)が提案している「医療版情報銀行」をはじめ、吉備中央町、茅野市(長野県)で運用されている共有データベースとも相互連携を可能にしようという構想も上がっており、今後、健康特区を契機に医療データの相互運用を全国に拡大していくことが期待されている。

ハイブリッド母子手帳「ウィラバ」で母子を支援

母子健康情報のデジタル化

岡山大学病院産科婦人科助産

吉備中央町デジタル田園都市推進協議会
補佐アーキテクト(医療・福祉事業担当)

岡山大学デジタル田園健康特区推進委員

牧尉太 MAKI Jota

そなえ株式会社事業部主任

森三貴子 MORI Miki

戦後間もない1948年、妊娠・出産・育児における母子の健康状態を記録する手帳として発行された母子健康手帳。その効果もあつて妊産婦死亡率は下がり続け、2004年には「世界で最も安全なお産ができる国」、2018年には「赤ちゃんが最も安全に生まれる国」(※)に至るまでになった。母子健康手帳のそうした功績を牧尉太助教は「70年以上続くレガシー」と称賛する。「ただ、様々なメリットをもたらし続けてきた母子健康手帳も時代の変化とともに足りない部分も見えてきました。それは妊娠中の母親の生活に関する項目がない点。具体的には『将来の病気の予防になる項目』『親子三代がつながる仕組みです』と牧尉太は指摘する。近年の研究では子宮内の環境因子が胎児に引き起こす「エピゲノム変化」が生後の疾患リスクに関係していることが判明している。そうしたことを踏まえ、牧尉太のチームは、紙媒体の使いやすさを残しながら、母子健康手帳をデジタル化し、未病関連項目



牧尉太

■専門分野/周産期医学 女性ヘルスケア
IoTを駆使した医療システム開発

1982年生まれ。金沢医科大学医学部卒。岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修了。博士(医学)。2019年より現職。趣味は旨いもの巡り、眼鏡遊び、動画鑑賞・作成。「子育て中は週に1、2回しか家に帰れず、母子家庭化し、よく子どもが一人増えたといわれていました。子育てにおいて妻には感謝がございません。」

森三貴子

そなえ株式会社 事業部主任

1977年生まれ。富山県出身。株式会社シンクラン秘書課入社。営業・コンサル等の経験を積み、美容関連会社取締役就任。結婚後、主婦として10年間を過ごし、夫の岡山大学発ベンチャーの設立を機に「ウィラバ(WeLoveBaby)」事業の立ち上げに邁進しつつ、母親として子育て、学生として神学の単位取得に奮闘中。2021年度岡山イノベーションコンテストにおいてビジネス部門大賞、グランプリを受賞。

※出典…厚生労働省人口動態統計



中山間地域のモデルとして 本取組が大きな役割を果たす

吉備中央町長
山本雅則



本取組の推進には、より専門的な知識やノウハウ、実施体制が必要です。岡山大学様に、特に喫緊の課題である救急医療につきまして、臨床研究中核病院の知見や実績をお借りしながら、デジタル技術の活用により、地域における健康・医療等の課題解決に向けた共同の取組を通じ、住民の皆さんが安心・安全に暮らせるまちづくりを進めるとともに、本取組が他の中山間地域のモデルとして、大きな役割を果たすよう努力してまいります。



岡大グルメ

学食ではとりえず鶏ボン唐揚げ! (岡大生 / 20代)

毎週火曜日は「かがしや」の日替わり定食がご馳走だった。(チキンカツ定食で腹一杯) (岡大卒業生 / 40代)

大学病院の記念会館内の食堂にあるカンパールチキンカツ。温泉卵とほうれん草のお浸しの温泉卵のみをごはんにドボンし醤油をかけた手作りTKG。これらを一緒に口にすれば、うめんだよな。はい覚醒。(岡大教職員 / 20代)

インデントの明るいおばちゃん。(岡大生 / 10代)

びびん亭がうますぎる。(岡大生 / 20代)

ある日のゼミで学食について話していたら、インデントの金魚鉢パフェについて語る人が。食べたことないので、チャンスあれば食べたいな。(岡大卒業生 / 30代)



3日前までに要予約。2800円です。ぜひチャレンジを!

あるある

新歓の「ピーチ前集合」で、ピーチユニオンを最初に覚える。(岡大生 / 20代)

いちよう並木のいちようの葉がすべて落ちるまでに、恋人ができなければその年はずっと恋人ができない。(岡山大学教職員 & 卒業生 / 20代)

車止めポールをうまくかわす自転車通学生は上回生 (岡大生 / 10代)

県外から通う実家生なので、朝イチの電車から来ていますが、大体教室には1番乗りです。(笑) (岡大生 / 20代)

冬の夜10時のマルナカ中井町店、カップルしかいない。(岡大生 / 20代)

岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター内販売所で販売されている、岡大農場の野菜が安くて、新鮮で、おいしくて、最高です!同じ値段で、スーパーの2倍の量の野菜が買えます。(岡大生 / 10代)



かがしやは世代問わず、人気ですね!店主によると、岡大の学生さんは気に入ったメニューばかり食べる「ばかり食べ」の子が多いとのことですよ。



とれたて野菜に果物、おいしいですよ!地域の方もご利用いただけますよ。

タンダーバルの学生価格がお得。新歓の時期は部活の張り紙をたくさん貼らせてくれる。コロナのときは、お弁当を無料配布していた。(岡大生 / 10代)



芝桜は、環境理工学部生が授業で植えたものだそうです。ピクニックも人気みたいですよ!

津島キャンパスの北東の果ての果てに誕生池というビोटープがあります。春になったら芝桜が綺麗です。傾斜になっているので地面に座ってローアングルから写真撮ったら青空と芝桜で観光地に負けないインスタ映え写真が撮れます。(岡大生 / 20代)

E棟のトイレがめちゃくちゃ綺麗。あそこは岡大の秘境。(岡大生 / 10代)

図書館西館6階、保存資料室の窓からの眺めが最高です。(岡大生 / 20代)

農学部のヤギが可愛いです。地域の人からよく餌をもらっているのでも人懐っこいです。(岡大生 / 20代)

スポット

あなたが知っている

岡大ネタ

大公開!

2001年より制作を始めた岡大広報誌「いちよう並木」が今号で100号を迎えました! ころ、130件を超える情報が集まりました! い出話、岡大の七不思議や裏話など... いです! どうぞお楽しみください!



いいね!

岡大OTDのTwitterでは質問箱で大学生活の疑問を気軽に質問できて、答えてくださるので助かりました! (岡大生 / 20代)

50分×10の時間割で小中高の感覚で勉強できて楽しそうです! (高校生 / 10代)

卒業後出会った方と岡大トークしていたら、L-cafeの話題で盛り上がりました! 出会いのはじまりはL-cafe!! (岡大卒業生 / 30代)

家族全員が岡大生だった。(岡大生 / 10代)

大学生のときにホテルでのアルバイトで松任谷由実に果物を運び、チップをもらっていたという伝説を持つ教授が教育学部にいる! (岡大生 / 20代)

思い出

昭和62年頃の共済会理髪店の店主、髭そりナイフがガタガタ震えていた。落研であることを伝えると、髪型が桂文珍のように角刈りになっていた。(岡大卒業生 / 50代)

航空部の模擬店が元祖の「牛申し」がミシュラン並みに美味だった。航空部の牛串の大繁盛を見て他の部も真似し出した。しかし、竹串で作った航空部の牛串が一番、美味だった。(岡大卒業生 / 40代)

歴史

岡山大学のシンボルになっている、附属図書館の時計台は、防火水槽である。(岡大卒業生 / 40代)

岡山大学附属図書館HPの「貴重資料」ページでは、池田家文庫の絵図写真や家臣データベースなど、岡山藩や図書館所蔵古文書に関する情報が広く公開されています。(岡大教職員 / 30代)

現在建設中の共有共創コモンズの北側にありますよ!

旧田原井堰の巻き石の要となっていた巨石が5個、津島キャンパスに移設されています。石の表面を見ると300年間水流の影響を受けて削れた所も確認出来ます。(岡大教職員 / 60歳以上)

オモシロ

去年ピーチユニオンに貼ってあった一言カードで、「友達がいません。ぴえん」と書かれたカードの返信欄に「私もです。ぱおん」とコメントが書かれ、リアルタッチなゾウの絵が描かれていました。思わず写真に収めました。(岡大生 / 10代)

ミールカードガチ勢の人は、すべてのユニオンと階の食堂メニューの微妙な違いを知り尽くし、部活の大会運営で弁当をもらった日や外食した日もわざわざ大学まで行ってミールカードを使うほど学食を愛し、カードをびったり上限まで使えたときには嬉しくてしょうがないらしい。(岡大生 / 10代)

1限前のスクランブル交差点は渋谷のスクランブル交差点に匹敵する。(岡大生 / 10代)

昔、文学部の准教授の言語学の先生が、岡大用語の辞典を作っていました。マリナーズとか芝コンとか、岡山大学でしか通用しない単語が満載でした。あれがどこかに保存されていないですかね?(岡大教職員 / 60歳以上)

図書館にありますよ!「現代キャンパスことば辞典」で探してみてください!

初耳!

教育学部棟に、夜間にピンク色に光る部屋がある。理由は不明。(岡大生 / 20代)

中央図書館時計塔の時計は、停電があると止まってしまう。その都度図書館職員が時間を合わせている。(岡大教職員 / 40代)

津島キャンパスの南東角で気象庁が気象観測をしています。気象庁が発表する岡山の気温はここで測定されたものです。(岡大教職員 / 50代)

岡大附幼→附小→附中→岡山大学卒業→附属特別支援学校勤務でグランドスラムしている先生がいる。(岡大教職員 / 30代)

津島キャンパスでは70種近い貝類(陸・淡水産)が確認されています。環境省レッドリストに掲載された稀少種が多いのも特徴です。(岡大教職員 / 50代)

スゴい岡大生

ケイピングクラブはグランドで木登りをしている。(岡大生 / 20代)

毎日高校の制服で登校している人がある。(岡大生 / 20代)

超!人気ユーチューバー「しがない数学者」がいる。(岡大生 / 20代)

ボート部とアイスホッケー部を兼部してる体力おばけの一回生がいる。(岡大生 / 10代)

卒業生

シンガーソングライターの室田夏海さん(法学部OG)の活躍が素晴らしいです☆ (岡大教職員 / 40代)

2008年北京オリンピックにMPコース2年生・小林祐梨子さんが出場しました。現在は陸上の大会(駅伝)やNHKのオリンピック番組の解説など幅広く活躍しています。(岡大教職員 / 60歳以上)

岡大落研は来年(2023年)創立50周年です。桂阿か枝、桂小鯛、林家愛染という上方落語のプロを輩出しています。(岡大卒業生 / 60歳以上)



食を通じてアフリカ・アジアの子どもたちを支援

岡山大学で「TFT」(TABLE FOR TWO)への参加機運が高まったのが2018年。当時1人の学部生から始まったこの動きは、次第に賛同の輪が広がり、2019年4月から「岡山大学TFT」として本格的に活動を開始。岡山大学生生活協同組合と協働し、今では様々なTFTメニューを提供している。そして今年、TFTメニュー、およびTFT弁当の提供数が1万食を突破したことを記念して、オリジナルで開発した「ヘルシースパイスカレー(1日50食)」の提供を学内のピーチユニオン3階で実施した(5月9日〜20日の期間限定)。

「2021年1月にTFTメニュー5千食達成記念として期間限定発売した『ヘルシースパイスカレー』が大好評だったので、今回は、さらにパワーアップして1万食達成の感謝を皆さんに伝えたいという思いから実施しました」と話すのは中心メンバーの1人、SDGsアンバサダーの澁谷香澄さん(法学部2年)。TFT弁当の開発に携わる増山乃々子さん(経済学部2年)は「みんなが『おいしい!』ってカレーを食べてくれているのを見て、とても嬉しかったですね」。SNS等を通じてイベントの広報を担当した本多佳穂さん(文学部2年)は、「SNSを使っている他の岡大メンバーにも協力してもらって、イベント情報を広めて

私にとって岡山は 良いワインのような存在。

デイビッド・アンダーソンさんは、アメリカ南部ジョージア州アトランタ出身の25歳。米国務省により選抜された全米トップクラスの大学生・大学院生が、日本語と日本文化を集中的に学ぶ「米国務省重要言語奨学金(CLS)プログラム」の第一期生として、2019年6月に来学した。約2カ月間、本学で「市民参加のまちづくり」について学びを深め、アメリカへ帰国。帰国後も「岡山のまちづくり」について研究をするために準備を進めていた。その後、新型コロナウイルスの影響で留学は当初の予定より1年延期となったが、2021年7月からは、アメリカ・フルブライト奨学生として再来。岡山大学大学院社会文化科学研究科の研究生として勉学に励んでいる。

「今は、岩淵泰准教授(地域総合研究センター)の指導のもと、『人口減少社会における地方議会の役割』について研究に取り組んでいます」と流暢な日本語で説明するアンダーソンさん。岡山についての印象を尋ねると、「フィールドワークでは、岡山市だけでなく新見市や真庭市、奈義町、下津井など県北から県南まで広く足を運びました。岡山の印象ですか?私にとって『岡山は良いワイン!』。長くいれるほど良くなる。なぜたくさんの人が岡山に住んでいるのか、過(こ)せば過(こ)すほどよく分かりますね。人も温かくて親切。

広い世界で

活躍する



両道

岡山大学の

学生たち

いつの日か外交官として
日本とアメリカの
架け橋になりたい!



Recipe!

テキアウトでもおいしい!
ヘルシー
スパイスカレー
440円(税込)

5種類のスパイス(クミン、ターメリック、コリアンダー、カルダモン、カイエンペッパー)を贅沢に使用し、普段の学食のカレーとは一味違ったちょっと大人なヘルシーカレーに仕上げました。

TFTメニューが
1万食を突破!食品ロスの問題にも取り組みたい!

もらいました」と満足そうな表情。今回はレシビへのこだわりも強く、前回5千食達成記念のカレーは、乳製品を使用していたため、イートインのみの販売だったが、今回は乳製品不使用でデスクアウトにも対応できるようにしたとのこと。普段学食で提供されているものとはテイストが違ふ、南インド風のキーマカレーは、冷めてもおいしく、5種類のスパイスが本格的と好評だった。

3人とも「食えることが大好き!食えることは幸せなこと!」と満面の笑顔。「TFTの理念に共感して食べていただくのはもちろんですが、食べたいものの選択肢の一つにTFTがなれると嬉しいですね」と澁谷さん。現在、岡山市に本店を置く中国銀行のTFT活動にも岡大TFTはメニュー開発などで参画している。今後は食品ロスの課題にも積極的に取り組んで行きたいと話す3人。新し

私には岡山のような場所が必要だったんです」と話す。

研究活動以外でも課外活動の一環として、岡山市中区の松琴寺で日本文化のひとつである「茶の湯」を、同じく、曹源寺では坐禅を体験したとのこと。その時、「瞑想することに関心を持ちました。それから毎日10分程度、生活の中に瞑想タイムを設けています」と笑うアンダーソンさん。「瀬戸内国際芸術祭2019」の際には、京橋と瀬戸内海を結ぶ「京橋クルーズ」で犬島に渡り、犬島精練所美術館や古民家を改装して芸術作品化した「家プロジェクト」くらしの植物園などを見学。既存の遺構の再生・保存、太陽や地熱などの自然エネルギーを利用した建築、作家三島由紀夫をモチーフにしたアート作品にも親しんだそうだ。

食事に限っては日本食、特に岡山の郷土料理が口に合うらしく、バラ寿司やエビめしが大好物だとのこと。そして何より驚いたのが水の美味しさ。「岡山に来て、生まれて初めて湧水(蒜山塩釜冷泉)を飲みました。冷たくて、美味しくて感動しましたね」。

流暢な言うよりも、日本人以上に丁寧かつ的確な語彙で自分の想いを伝えるアンダーソンさん。岡山井はどうですか?



デイビッド・アンダーソン CLS第一期生 フルブライト奨学生

本多佳穂 文学部2年 SDGsアンバサダー

澁谷香澄 法学部2年 SDGsアンバサダー



増山乃々子 経済学部2年 SDGsアンバサダー

「TFT(TABLE FOR TWO)」TFTは日本発の社会貢献運動、先進国の参加者と開発途上国の子どもたちが時間と空間を越え食事を分かち合うことで、先進国の飽食と開発途上国の飢餓を同時に解決することを目指す。TFT対象の健康メニューを食べると、代金のうち20円(給食1食分が寄付金となりTFT事務局を通じてアフリカアジアの子どもたちへ給食が届けられる。本学が注力しているSDGs・持続可能な開発目標17の目標のうち「2.飢餓をなくそう」を中核に、「1.貧困をなくそう」「4.質の高い教育をみんなに」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」というミッション達成にも寄与している。

との質問に、「クルマがききよーる!」「今なんしょん?勉強しとる!」「でくれ!アチ」と即答。生粋の岡山県人に匹敵する見事なイントネーションに周囲もびっくり。その自然なリアクションにアンダーソンさんの熱い岡山愛を感じた。

将来の目標は「外交官としてアメリカと日本の架け橋になりたい」と語るアンダーソンさん。そしていつどんな形であれ、岡山には必ず帰って来たい」と続けた。岡山大学での経験値を活かし、日米の架け橋として、世界を舞台に活躍する日も近い。

※CLSプログラム
Critical Language Scholarship Program:アメリカの国家安全保障にとって重要な役割を果たす言語の人材養成とその言語をアメリカ人に教えることができる教師の拡大を目的とする、アメリカ国務省主催の奨学金プログラム。

※フルブライト奨学金
アメリカ合衆国の学者、教育者、大学院生、研究者、各種専門家を対象とした国際交換プログラムと奨学金制度。

今、話題の岡大発 ベンチャーを徹底解剖!

今、各方面から注目を集める岡山大学発のベンチャースタートアップ。様々な分野で持てる個性とスキルを発揮する若き才能。社会課題解決をミッションとする起業家たちをシリーズで紹介します!

大学院自然科学研究科
博士前期課程1年

長島 慶樹さん

大学院自然科学研究科
博士前期課程1年

宮本 大輝さん



TechSword

2021年度文部科学大臣賞・
テクノロジー大賞受賞

知識ゼロ、スキルゼロでも画像認識AIが開発可能

「学生起業家の登竜門」と称される「キャンパスベンチャーグランプリ2021年度全国大会」で「文部科学大臣賞・テクノロジー大賞」をダブル受賞した長島慶樹さんと宮本大輝さん。現在、長島さんは大学院自然科学研究科機械システム工学専攻、宮本さんは同自然科学研究科電子情報システム工学専攻に在籍する現役の大学院生。そして二人は、岡大発のAIベンチャー「株式会社TechSword」の最高経営責任者(CEO)・長島さんと最高技術責任者(CTO)・宮本さんという起業家としての顔も持ち合わせている。大学在学中からビジネスモデルの構築に興味を持ち、個人で販売・アフィリエイト・受託開発などを手掛けてきた長島さん。AIテクノロジーとビジネスフィールド、その双方の可能性を感じ取った結果、2021年5月19日に「長島君と目指す先が同じ、意気投合した」と話す宮本さんと共に「AIの民主化」をビジョンに掲げる「株式会社TechSword」を設立、代表取締役役に就任した。「本当は大学卒業後は、どこかの会社に就職して社会経験を積むことも考えました。ただAIのニーズや可能性を感じた時点で、このタイミングを逃してはいけない。人生は永遠じゃないし、みたいな想いが生まれて、在学中に「TechSword」を立ち上げることになりました」と当時を振り返る長島さん。現在、「TechSword」は機械学習やデータサイエンスの知識がなくても画像認識AIを開発・実装できるノーコードAIプラットフォーム「TechSword Platform」を法人向けに提供している。会社設立から1年ほどだが、顧客には自動車部品製造業(複数パターンの不良品を検出するAIの開発・実装を短期間かつ高精度で実現)や大手建設業(作業現場に入る前の服装検査を行うAIの開発・実装を実現)など、そのフィールドは着実に広がりをを見せている。「AIに専門人材や大きな予算をかけられない中小事業者にも、簡単かつ低コストで導入可能です」とメリットをアピールする長島さんと宮本さん。撮影の際も、二人はお笑いコンビのように軽妙なトークを交わし合う。その姿は学生らしいはつらつさに満ちていた。

個々の個性とスキルが結晶した「TechSword」。心から今を愉しむCEOとCTO。これこそが学生ベンチャーの強み、魅力かもしれない。

「キャンパスベンチャーグランプリ」2年連続受賞!



久保 駿貴さん

大学院社会文化科学研究科
博士前期課程1年

ABABA

2020年度経済産業大臣賞・
ビジネス大賞受賞

採用のエコシステムを構築!
面接に落ちたら「ABABA」

今年2月に岡山大学発ベンチャー称号授与式に出席し、正式に岡大発ベンチャーの称号をいただくことができました。私たちが提供するサービスはITサービスのため、知的財産の優遇を受けるのがなかなか難しいのですが、大学発ベンチャーの認定を受ける前からプレスリリースを出していただいたり、弊社のリリースを大学ニュースでも度々取り上げていただいたりと、大学広報課の皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。中でも一番反響が大きかったのは、日本経済新聞全国版の一面に広告を出していただいたことです。多くの顧客獲得に繋がったのはもちろんのこと、取引先の企業さん、投資家の皆さん、銀行さんなど多くの方から喜びの声、エールをいただき大変感謝しております。その他にも社外取締役を務める横井篤文上席副学長からもSDGs経営の実践に向けて、日々アドバイスをいただき私たちを支えていただいております。

ABABA 株式会社 ABABA(アババ)

就職活動の最終面接に落ちた学生を企業間で推薦、採用できるプラットフォーム。企業はフィルタリングされた優秀な学生を確保でき、採用フローをカットできる。学生は、企業から特別選考へのスカウトが届き、最終面接までの努力が評価されるという仕組み。



第4回岡山テックブラングランプリで
最優秀賞・企業賞受賞

最優秀賞 オルバヘルスケア賞

Protein Burden
1細胞レベルでのタンパク質生産最適化

発酵の立役者である酵母を利用して、タンパク質を大量に生産する研究を行っています。研究内容に基づいて開発した、1細胞レベルでのタンパク質生産最適化手法が高い評価を受け、賞を頂くことができました。今後より一層自身の研究に励むとともに、社会問題の解決に意識を取り組んでいく所存です。

中国銀行賞

Nano Layer
ガス貯蔵材料の開発

ガスや有機分子といった物質を吸着・回収するための吸着材の開発を行っており、性能を向上させるために新規材料の開発および構造設計に取り組んでいます。現在は、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を回収するための材料開発を行っています。今後は、博士後期課程の間に専門的技術を習得し、日本のモノづくりの発展に貢献していきたいと考えています。

岡山大学の
ベンチャー起業支援体制

岡山大学データサイエンス部DS部顧問
DX推進担当副理事/学術研究院自然科学学域

野上 保之 教授

NOGAMI Yasuyuki

岡山大学発ベンチャーと具体的な支援内容を教えてください。

「岡山大学発ベンチャー称号制度」を2021年度から創設しました。本学の学生・教職員、あるいは研究成果を活用して起業したベンチャー企業に「岡山大学発ベンチャー」の称号を授与し、その企業に対して適正な支援を行うことを目的としています。2022年2月には、称号授与式を挙行し、6社に称号を授与しました。知的財産権に関する優遇措置、本学施設有償貸与の際の優遇、本学施設の住所による商業登記を可能にするなどの支援を行っています。

ベンチャー企業の誘発と今後の展望について
教えてください。

特に学生からのベンチャーを誘発する雰囲気を作ることに重要です。本学では、2021年度にデータサイエンス部が、2022年度には起業部が創設されました。学生・教職員が入り混じり、文理を超えた幅広いダイバーシティを力として、高度な知識とスキルをベースにプロトタイプ開発をアジャイル的に進めています。マネタイズ・マーケティングも意識したクリエイティブなビジネス発想を加え、地元の方々とオープンイノベーションで連携をする。そのような環境から、キャンパスベンチャーグランプリの2連覇を成し遂げ、今後さらに素晴らしいアクティビティが生まれるものと期待しています。

本学ではベンチャーに関するさまざまな支援を行っています。ベンチャー設立にご興味をお持ちの教職員・学生の皆さん、左記までお気軽にご相談ください。
問い合わせ先
イノベーションマネジメントコアベンチャー支援フィールド
E-mail ▶ start-up1@adm.okayama-u.ac.jp



小田 哲也

Oda Tetsuya

■所属
学術研究院
教育学域
准教授

研究分野 生徒指導

岡山県教育委員会からの派遣で着任しました。微力ではありますが、大学、教育委員会、学校間の連携等の職責を果たす所存ですので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



服部 裕一郎

Hattori Yuichiro

■所属
学術研究院
教育学域
准教授

研究分野 数学教育／科学教育

「数学教育における批判的思考力の育成」をテーマに研究を進めています。より良い算数・数学の授業の実現を目指して、実践的な授業モデルが提案できればと思っています。



池田 匡史

Ikeda Msafumi

■所属
学術研究院
教育学域
講師

研究分野 国語教育学／教科教育学

国語教育学を専門とし、特に国語科の「学習」がどのようにデザインされてきたのかを歴史的に探究しています。教科を横断する営みについても積極的に行っています。



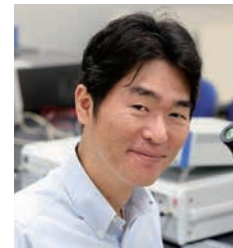
李 英

Li Ying

■所属
学術研究院
社会文化科学学域
講師

研究分野 法社会学

わたしは、社会のなかの人々がどうやって紛争に向き合うかを検討することで、法の「現実的」な機能について考えています。機会があれば、みなさんと一緒に考えたいです。



真下 智昭

Mashimo Tomoaki

■所属
学術研究院
自然科学学域
教授

研究分野 アクチュエータ／マイクロロボット

小さなモータとロボットの研究をしています。最近では昆虫サイズのロボットを作っています。クリエイティブな技術で、世の中を変えることが目標です。

岡山大学
研究者総覧



教員のプロフィールは
こちらからも
ご覧いただけます。



山方 啓

Yamakata Akira

■所属
学術研究院
自然科学学域
教授

研究分野 触媒化学／表面光学学

全国各地をまわってようやく岡山に辿り着きました。この地でこれまでに育んできた研究の芽を咲かせることができるようにしっかりと取り組んでいきたいと考えています。



小橋 好充

Kobashi Yoshimitsu

■所属
学術研究院
自然科学学域
准教授

研究分野 燃焼工学／内燃機関

カーボンニュートラル社会の実現を目指し、光学計測や数値シミュレーションを用いて、水素や非石油系燃料の高効率な燃焼法を研究しています。



この春に着任された
先生方を紹介します



高畑 陽子

Takahata Yoko

■所属
学術研究院
保健学域
准教授

研究分野 若年層の骨健康の増進／児童虐待予防

専門は公衆衛生看護学です。看護職の中でも『予防』をミッションにする保健師について、講義・演習・実習を通して学生の皆さんにその魅力を伝えていきたいと思っています。



鳴海 大典

Narumi Daisuke

■所属
学術研究院
環境生命科学学域
教授

研究分野 都市環境学／建築環境学

持続可能な地球を維持しつつ、快適な都市・建築環境を実現するために、これから構築すべき都市・建築、さらには関連するエネルギーシステムの在り方を研究しています。



アルワシャリ
ハモード

AL WASHALI HAMOOD AH

■所属
学術研究院
環境生命科学学域
准教授

研究分野 建築構造／耐震診断

解析シミュレーション、地震被害調査、構造実験などを組み合わせて、建物の耐震性能を評価・向上させ、減災や耐震都市の実現を目指しています。



川西 敦史

Kawanishi Atsushi

■所属
学術研究院
環境生命科学学域
准教授

研究分野 建築設計

新しい時代に呼応する建築空間とその設計手法を考察するとともに、その土地や地域社会に融合する建築デザインの実践を行います。



高岸 茉莉子

Takagish Mariko

■所属
学術研究院
環境生命科学学域
講師

研究分野 統計学／多変量解析

多変量解析など統計手法の開発の研究をしています。岡山大学では研究・教育ともに尽力させていただきます。



天野 克比古

Amano Katsuhiko

■所属
学術研究院
医歯薬学域
講師

研究分野 口腔外科／骨軟骨代謝

4月から着任しました天野です。卒後歯科医師免許を取得して19年目です。岡山の地で仕事をするのは初めてですので、色々とお教示頂けるよう、よろしくお願いします。



原田 奈穂子

Harada Nahoko

■所属
学術研究院
ヘルスシステム統合科学学域
教授

研究分野 看護科学／メンタルヘルス

あらゆる健康レベルの個人と集団を対象に、人の営みである生活を看護の視点を通して研究と実践を行っています。現在は災害とメンタルヘルスについて焦点をあて研究しています。



平野 美奈子

Hirano Minako

■所属
学術研究院
ヘルスシステム統合科学学域
准教授

研究分野 生物物理学／ライフサイエンス

膜タンパク質および光感受性タンパク質の動作原理を解明し、それらを利用した創薬支援ツールを開発することを目指しています。



鈴木 尊明

Suzuki Takaaki

■所属
学術研究院
法務学域
准教授

研究分野 民法学／フランス法

民法を中心とした専門的知見の深化を通じて、学生とともに目標を達成し地域に貢献するため、全力を尽くしたいと考えております。よろしくお願いいたします。



田中 健太

Tanaka Kenta

■所属
異分野基礎科学研究所
助教

研究分野 有機合成化学

有機合成化学を専門としており、クリーンなエネルギー源である「光」や「電気」を利用した環境調和型の有機合成反応の開発に取り組みます。



岩谷 胤生

Iwatani Tsuguo

■所属
岡山大学病院
乳腺・内分泌外科
講師

研究分野 乳腺・内分泌外科学／
ヘルスアウトカム・医療経済評価学

臨床では乳癌・内分泌腫瘍の診療に従事しております。臨床と社会を橋渡しする研究としてがん領域のヘルスアウトカム研究と医療経済評価を専門としております。



濱野 裕章

Hamano Hirofumi

■所属
岡山大学病院
薬剤部
講師

研究分野 データサイエンス／臨床薬理

薬剤部に着任しました、濱野と申します。医療情報データベースを活用した研究を行っており、岡山大学病院と医療の発展に貢献できるよう努力して参ります。



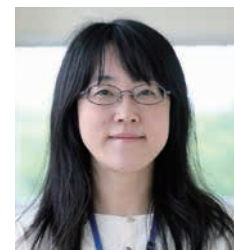
森谷 浩士

Moritani Hiroshi

■所属
教育推進機構
准教授

研究分野 応用言語学／外国語教育

外国語学習における学習者と教師の心理面に着目して研究をしています。研究の成果を日々の岡山大学での授業へと還元できるように取り組みたいと思います。



中野 英莉子

Nakano Eriko

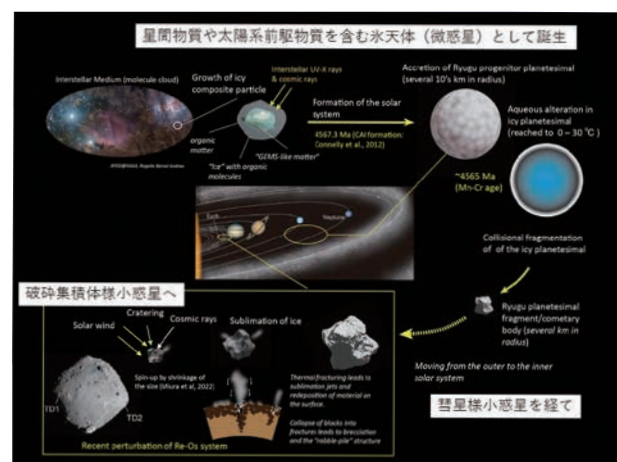
■所属
教育推進機構
講師

研究分野 ドイツ語学／会話分析

専門はドイツ語学です。人と人とのコミュニケーション上で様々に表出される相互行為上の機能を、ドイツ語を対象として分析しています。

press release
プレスリリース小惑星リュウグウの起源と進化
～地球化学総合解析による
太陽系物質進化の描像～

自然生命科学研究支援センターの中村栄三特任教授らの研究グループは、日本の小惑星探査機「はやぶさ2」の探査対象であった小惑星リュウグウから回収された16粒子を用いて、詳細な地球化学総合解析を行いました。その結果、小惑星物質試料が太陽系形成前から現在に至る複雑な物理化学過程の証拠を保持していることがわかり、生命の起源を含む太陽系物質進化の新しい描像を導くに至りました。



2022 3月	5日 ● 「地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム」を設立 9日 ● 株式会社好日山荘とSDGsの達成に向けた包括協定を締結 15日 ● 新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種3回目を開始
4月	8日 ● 長尾遼特任講師が文部科学大臣表彰の「若手科学者賞」を受賞 8日 ● 太田弘道技術専門職員が文部科学大臣表彰の「研究支援賞」を受賞 12日 ● 岡山大学グリーンイノベーションセンターの看板除幕式を挙行 13日 ● 吉備中央町と連携・協力に関する協定を締結
5月	3～5日 ● 教育学研究科ESD協働推進センターがモンゴルで「アジアのESD研究教育拠点の連携による気候変動教育の教師教育推進」の国際会議を共同開催 17日 ● 学校法人アジアの風 岡山外語学院と協定締結
6月	10日 ● 「米国務省重要言語奨学金(CLS)プログラム」夏期オンラインコース開講式を挙行 24日 ● 学部基金理事会、感謝の集いを開催

PICK UP!

令和4年度OUフェローシップ
認定証授与式を挙行

4月28日、令和4年度「岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップ」(OUフェローシップ)の認定証授与式を行いました。OUフェローシップは、認定者に対し、フェローシップ(研究奨学金)として研究費・生活費相当の支援金を支給するとともに、さまざまな取り組みで研究力向上とキャリアパス確保を支援する制度です。本学は、令和3年2月、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の採択を受け、同制度を創設。その後、令和3年9月にJST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」にも採択されました。令和4年度は、書面審査及び面接審査の結果、応募者延べ77人の中から新規に26人を選定しました。式には、オンラインを含め認定者全員が出席。横野学長は代表者に認定証を授与し、「この環境を活用するとともに、多くの仲間と切磋琢磨し、『主体的に変容し続ける魅力的な先駆者』に成長していただきたい」とあいさつしました。

岡山大学シンポジウム
「岡山県における産業振興とグリーン
イノベーション-人材育成と地方創生-」を開催

CEREMONY

4月27日、グリーンイノベーションセンターの新設を記念して、岡山大学シンポジウム「岡山県における産業振興とグリーンイノベーション-人材育成と地方創生-」を創立五十周年記念館で開催(オンライン同時配信)し、約400人が参加しました。冒頭、義本博司文部科学事務次官、伊原木隆岡山県知事からあいさつをいただいた後、細羽紀子中国銀行地方創生SDGs推進部長、横野博史学長をモデレーターにパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、三浦智美岡山県産業労働部長から「岡山県における産学官連携による産業振興」、上田健二環境省中国四国地方環境事務所長から「SDGs・脱炭素で地方創生へ」、太田昇真庭市長から「SDGs未来杜市「真庭」×グリーンイノベーション」、隈研吾岡山大学特別招聘教授(建築家)から「コロナ後の地方の可能性」と題した発表が行われ、阿部匡伸理事、野上保之副理事からは、学内の関連の取り組みについて発表がありました。自由討論では、「SDGs×地方創生」のあるべき方向性について議論しました。

令和4年度
岡山大学入学式及び
大学院入学式を開催

CEREMONY

本学は4月2日、令和4年度岡山大学入学式及び大学院入学式を岡山県総合グラウンド 体育館(ジップアリーナ岡山)で挙行了しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、午前(学部新入生)・午後(研究科新入生)の二部制とし、入学生と学内関係者のみで執り行い、式典の様子は、YouTubeでライブ配信を行いました。横野博史学長は、学部・大学院生ら計3,412人の新入生に向け、次世代リーダー・グローバル・サミット「One Young World」が昨年発行した書籍「WE HAVE A DREAM」の中から夢と目標の違いについて紹介し、「『未来のありたい姿』という夢を他者と共有し、その実現のために必要な目標を考え、勇気を持って積極的に行動を起こしてください」と新入生を激励しました。新入生を代表して、午前の部は、工学部の森礼喜さん、午後の部は、法務研究科の藤原新汰さんが宣誓しました。

真庭市と包括連携に
関する協定を締結

CEREMONY

本学は4月27日、真庭市とSDGsの達成に向けた連携・協力を通して、林業・木材・木造建築教育・研究ゾーンの形成、人材育成及び地域活性化に寄与することを目的として、包括連携協定を締結しました。同日開催した調印式では、横野博史学長、太田昇市長が協定書に署名し、固い握手を交わしました。横野学長は、「SDGs未来杜市である真庭地域の豊かな歴史文化や自然資源を生かして、脱炭素社会・地域循環共生圏を実現させ、地方創生を目指すゾーン構想は、SDGsに貢献し、岡山から世界へ新たな価値を創造していく先駆的取組となる」と話し、太田市長は、「この協定の締結によって、林業・木材・木造建築に関する学術的調査・研究、教育・研究拠点の整備や誘致、人材育成及び他の関係機関との連携が一層進んでいくことを期待したい」と述べました。



PICK UP!

マイはし
キャンペーン

6月27日～8月5日の期間、学内で気軽にSDGsを体験できるイベント「マイはしキャンペーン」が岡山大生協の食堂で実施されました。マイはし利用者がスタンプをためるとデザートがもらえるというこのイベントは、ミライコン(SDGs未来懇談会)のメンバーが企画し、岡山大生協等の協力を得て実現。PRのためのポスターやスタンプカードは、SDGsアンバサダー等の学生がデザインしました。

OU NAVI

「共育共創コモンズ」
本格着工に向け起工式を実施

CEREMONY

4月27日、津島キャンパスにおいて、地域・企業の皆さまとの協働を一層充実させることを目的とした施設「共育共創コモンズ」の本格的着工に向けて、起工式を実施しました。



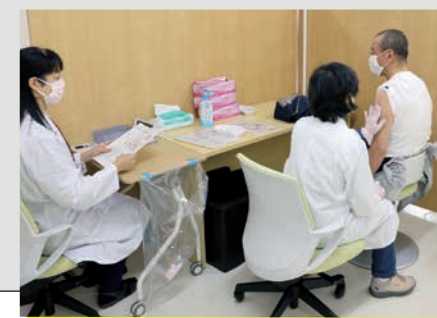
起工式では、横野博史学長が鍬入れ、清水建設の岩垣尚樹広島支店執行役員支店長が鋤入れを行ったあと、横野学長、菅誠治工学部長、隈研吾特別招聘教授、岩垣支店長が玉串を奉奠し、関係者全員で工事の安全を祈願しました。「共育共創コモンズ」は、カーボンニュートラル・脱炭素社会に貢献する、環境に優しい木質系材料CLTを活用した木造建築です。延べ床面積825㎡の木造2階建てで、300人収容の大規模講義室と、共同研究拠点としての「共創ラボ」機能を重点的に設計し、完成は令和4年12月を目指しています。

保健管理センターワクチン対策室
さくらルームを開設しました

HEALTH CARE

4月11日、津島キャンパスの大会館に「保健管理センターワクチン対策室さくらルーム(通称:さくらルーム)」を開設しました。同日、開設を記念したセレモニーが開催され、新型コロナウイルス対策本部統括副本部長である那須保友理事(研究担当)・副学長から「新型コロナウイルス対策に万全を期すべく、ワクチン接種に慎重に取り組むよう」と、運営スタッフに対する激励のあいさつがありました。本学では3月15日から、津島キャンパス第二体育館を会場として3回目の大学拠点ワクチン接種を行ってきました。さくらルームの開設により、ワクチン接種に特化した会場を長期間設置できるため、十分な感染対策をとることができ、1、2回目の接種時期が遅かった方にも接種の機会を提供することが可能となります。

本学はさくらルームにて引き続き大学拠点接種を実施するとともに、本学の学生・教職員、さらには近隣大学・専門学校の学生・教職員等への新型コロナウイルスワクチン接種の機会を提供します。





1枚の写真から紐解く、岡大の歴史。

誰かにそっと教えたいくなる…そんなエピソードとともに紹介します。

岡大 OU Pictorial History

モノクローム #03



第1喫茶 1969(昭和44)年頃

※岡山大学教育学部敷地内

岡山大学生協が設立される前、岡山大学には学生会館食堂のほか、第1喫茶～第4喫茶という、軽食堂がありました。いずれも旧日本軍の施設を改修した古い建物だったといえます。

第1喫茶は、現在の教育学部敷地内に位置し、麺類・パン・タバコ・弁当等を販売。

1978(昭和53)年3月からは、サークル活動をする学生の補食用として、うどんの自販機も設置し、

学生たちの胃袋を支えてきました。第4喫茶は現在の文化科学系総合研究棟の敷地にあり、野菜たっぷりの

麺類や丼物を提供。喫茶のお母さんは、体育系の部員たちから「母上」と呼ばれて慕われていたというエピソードも…。

(参考:岡山大学二十年史/岡山大学史 昭和44～54年/長谷川研究室記念館HP・写真で綴る岡大の27年)



学 章

岡山大学広報 いちよう並木

より良い広報誌を作成するために、皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

発 行 : 岡山大学 総務・企画部 広報課

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www-adm@adm.okayama-u.ac.jp

<https://www.okayama-u.ac.jp>

岡山大学

検索



アンケート実施中!

抽選で5名様に
「お岡山梅酒」
プレゼント!

